

「ようこそ！桃紅さんのせかいへ③」

地元小学校と美術館との連携プログラムに参加した、旭ヶ丘小学校6年生代表の平田伶奈さんと三好希典さんが出席して7月26日、夏休み子ども企画「学校と美術館の連携プロジェクト ようこそ！桃紅さんのせかいへ③」の開場式を行いました。

平田伶奈さんは、学校での鑑賞と造形活動について、桃紅作品を初めて見たときの感動や、じっくり見ていると、次々といろいろな形に見えてきて面白かったこと、墨を使って実際に描いてみると思いがけない形ができて楽しかったことなどを話してくれました。また、三好希典さんは、初めて展示作業に参加して楽しかったこと、難しかったことなどを話して

れました。

展示会場は、桃紅さんの作品に負けないうほど、迫力のある児童作品からあふれる熱気に包まれています。ぜひ夏休みの期間、ご家族でご来場ください。

児童作品のうち、6年1組は9月10日(土)、6年2組は9月16日(金)に展示替えをします。

- 会 期：10月2日(日)まで
- 入館料：高校生以上300円・中学生以下無料
- 休館日：月曜日(休日を除く)、休日の翌日(土・日・休日を除く)
- 開館時間：午前9時～午後4時30分
- 照会先：篠田桃紅美術空間
(市役所7階) ☎ 7756

開場式での様子

平田伶奈さん 三好希典さん



ひとひと
女と男

ともに自分らしく生きよう

男女共同参画社会

vol. 84

家事の定年はいつですか？

こんなほやきが多くの方たちから聞こえてきそうです。家事はいつ終わるでもなく先が見えません。その点、サラリーマンの場合は定年があり、退職すると趣味やボランティア活動など忙しい第2の人生を楽しむことができます。妻も夫と同じようなことが少しはできますが、炊事、洗濯、掃除、その他家事だけは、ほとんどの妻が担当しているのが実情です。

若い世代では分担、協力がかなり実践されている現状ですが、それでもやはり、家事はある意味では妻の領域になっています。

妻は「・・・してくれるだろう」と思っているのに、実際に「何をしたらいいのか」「何がしてほしいのか」が、夫はしっかり分かっていないのです。こうした意識のズレが生じていることも事実です。

「この部分を手伝ってほしい」など、妻は夫に協力してほしい事柄や事情をよく伝え、話し合えば双方のズレは大部分解消、理解し合えると思います。妻は頼み上手に、夫は頼まれ上手になる必要があります。そのためには、普段からお互いの会話が非常に大切です。事務的に役割分担するのではなく、お互いを思いやる心で家族を大事にするという意識が大切です。そうすることで男女共同参画の姿・形が少しでも見えてくるのではないでしょうか。



<照会先> さんかくサポーター事務局(まちづくり推進課内) ☎23-6831